

広報



みさわ

11

2013年
(平成25年)
No. 707
月号

04 特集 手をつなぐ贈り物

トピックス

- 02 ハロウィンフェスタ&みさわ地産地消フェア
- 08 市老人クラブ連合会創立 50 周年記念式典
- 09 社協まつり
- 26 県立三沢商業高校創立 50 周年記念式典



CONTENTS

- 10 市政の動き
- 14 マックチャンネルガイド
- 16 出来事通信
- 18 みさわ情報ネット
- 27 Pick Up 各コンクールの受賞者発表
- 28 三沢魂

大空のまちみさわスカイフェスタ 10月6日/湖の見える草原

パラグライダーに風を受けるため、草原を全力疾走。体がふわりと宙に浮く感覚と空からの眺めに驚きと興奮の笑みを浮かべ、大空への憧れを抱く。

トリックオアトリート

ハロウィンの定番「トリック オア トリート」。仮装した子どもたちの合言葉に応え、中央商店街の各店舗がお菓子をプレゼント。店先には長蛇の列ができ、商店街は多くの人々であふれました。



日米ハロウィン仮装パレード&コンテスト

思い思いの衣装に身を包んだ185組、600人以上の参加者が大町オレンジ広場前からパレード！ 終着点のアメリカ広場では、衣装の奇抜さや美しさ、パフォーマンスなどを含めて総合的に審査され、優秀者が表彰されました。



Pick Up

みさわ 地産地消フェア

10月20日、地域の特産品やB級グルメが集まる食の祭典、「みさわ地産地消フェア」が今年もアメリカ広場で開催されました。

ごぼうや長いも、イカにパイカ肉など三沢には全国に誇る農水畜産物が数多くあります。農協や漁協、商工会など14団体が軒を連ねた店先には、特産物を使った料理がずらりと並び、炭火や鉄板で焼く音と香ばしいにおいに誘われてやってきた来場者は迷いながら食べ歩き、地元特産物のおいしさを堪能していました。



Pick Up

ハロウィンフェスタ in MISAWA 2013

10月19日、歩行者天国となった中央商店街にモンスターやヒーロー、可愛いキャラクターたちが登場！ 栃木県から北海道まで、県内外から参加した人々が、国際色豊かな三沢ならではのハロウィンを楽しみました。



お化けかぼちゃ

店頭にはジャックランタンなどが飾られ、商店街はハロウィン一色に。スカイプラザミサワ前に飾られた50個の『お化けかぼちゃ』は、NPO法人マン・パワーが育てたものを商工会に寄付し、市職員らによって加工されたもの。

空き店舗に響く笑い声

中央商店街の静かな空き店舗。以前は中華料理店だった厨房に、明るい笑い声が響く。声の主は、NPO法人三沢市手をつなぐ育成会の会員たち。障がい者とその父母で結成した同会は、ごぼうを使った加工品作りに取り組んでいる。

日本一の生産量を誇る三沢のごぼう。現代病に有効な成分を豊富に含み、独特の風味や食感など、その魅力に注目が集まっている。手をつなぐ育成会では、そのごぼうを使った『三沢ごぼう漬』と『三沢ごぼう味噌』を開発した。ごぼうの食感を生かしながらさっぱりとした漬物と、風味とコクがある味噌は、さまざまな料理に合う優しい家庭の味がする。

作業しているのは会員の主婦たちで、10時から17時まで、5〜6人が家事や家族の世話の合間を縫って加工品作りに励んでいる。時間も労力も限られてはいるが、集まって力を合わせ、仕事ができることは楽しく、刺激や満足感を与えてくれる。ごぼうの香り漂う厨房には、今日も明るい笑顔があふれていた。

地域貢献と会運営のために

三沢市手をつなぐ育成会は、援助を必要とする障がい者とその父母たち23人で結成する団体。次第に高齢化する中で、日常生活に関する支援や権利の擁護、住み慣れた地域で暮らしていくためのサービス提供など、障がい者が健康的で文化的に暮らせる社会づくりを目指して活動している。手作りした布製品などをイベント等で販売し、その売上げを主な活動資金としており、会員は無給。昼食の弁当を持ち寄り、活動している。その団体が今なぜ、ごぼうの加工品作りを始めたのか。

今年2月、同会の坂田会長は、とある会合で市関係者から「ごぼうを使って何か加工品ができないか」という声を聞いた。そして、活動の合間の昼食で、会員の一人が勧めた『ごぼう漬』と『ごぼう味噌』がきっかけになった。今までにないおいしさに驚く会員一同。「何とかみんなにも食べさせたい」。少しでも地域に貢献したいという想いに加え、安定した会の運営資金を得られないものかと悩んでいた同会は、思い切った決断をする。中央商店街にある調理設備が整っていた元中華料



3 2



5 4

NPO 法人 三沢市手をつなぐ育成会

会員が無給で手作りした布製品をイベントなどで販売し、その売上げを活動資金に充ててきた。障がいを持つ子どもたちも30歳以上になり、親も高齢化が進み、いろいろなつながりが薄れる中で、安定した収入を得ることが以前からの課題だった。

6月に苦勞しながら法人化。(株)サポートの支援を受けて『三沢ごぼう漬』と『三沢ごぼう味噌』を開発する。

- 1 試作品のパッケージを初めて見る会員や関係者
- 2 苦勞した製品の完成に会員の喜びもひとしお
- 3 製品の味やパッケージに意見を出し合う
- 4 ごはんや炒め物にも合う『三沢ごぼう味噌』
- 5 さまざまな料理の素材にしても食感を楽しめる『三沢ごぼう漬』
- 6 一つ一つ違うイラストが描かれたラベル

episode 手書きイラストのパッケージ

パッケージのイラストは、三沢市手をつなぐ育成会会員の知的障がいを抱えた子どもが描いたもので、全て手書き。愛情を込めながら「うちの子は同じ絵しか描けない」ともらした会員の言葉に「同じ絵しか描けないはマイナスだが、同じ絵が描けるはプラス。パッケージに同じ絵を描いてくれたら、それはその子にしかできない仕事になる」と、開発を支援した(株)サポートがイラストの掲載を提案した。

豊かな発想で描かれたイラストと「いっぱいの人に食べてほしい」「ごぼう食べてみんな元気」などのかわいらしい一言に、どれを手にとっていいか迷ってしまう。現在は1組の姉妹が描いたものだが、ゆくゆくは他の障がいを抱えた子どもたちも加え、賃金を得られる仕事にしていく予定とのこと。



6



1

理店の空き店舗を4月から借り、事務所を移転。ごぼうを使った加工品作りに専念した。パッケージや味など、他の製品を研究し、試行錯誤と苦勞を重ね、ついに試作品が完成した。
10月10日、初披露された『三沢ごぼう漬』と『三沢ごぼう味噌』の試作品。パッケージの出来栄えやおいしさに満足しながら、販売のための意見を交わした。これらの製品は11月から市内で販売を始める予定。現在は父母の会員が作業をしているが、パッケージのイラストやラベル貼りなど、障がいを持つ子どもたちの仕事を作っていくとのことだ。障がいを持つ子どもたちとその親が、一緒に仕事できる職場が生まれた。



特集

手をつなぐ贈り物

中央商店街の空き店舗で障がい者支援団体が作り始めた、ごぼうの加工品。その中に込められているのは、おいしさ以上のあたたかい気持ち。



生きがいをもって働けるような支援をしていきたい

これからはハードではなくソフトの時代。まずは人、そして物、さらには場所が生きる取り組みをしていきたいと考えて商店街コミュニティオフィスを開設しました。売り上げを伸ばすことや商店街を歩く人を増やすことももちろんですが、最も大事なものは人。働く人が『生き

がい』を持って働けるような、人を生かす支援をしていきたいと思います。

商店街が人の力でつながり、お客が店をはしごする。昔できていたことが今また違う切り口でできたらすごく面白い。三沢の人が自慢しながら店舗を紹介できるような活動ができたらうれしいです。

(株)Jサポート 代表取締役 **浄法寺 朝生 さん**

この製品には、育成会会員の想いがこもっています

障がいを持つ子とそうでない子では叱り方一つとっても違い、育てている親にしか分からない感覚やノウハウがあるのです。

障がいを持つ子どもたちが、一番の理解者である親が見守る中で、とにかく楽しく手を動かすことができるような場所

を確保したかった。会や施設に属さない人も気軽に立ち寄って交流できる、本当の理解ある環境で「楽しみのきっかけ」や「働く喜び」を見つけてほしいと願います。その扉を開くのが私たちの会でありたい。この製品には、手をつなぐ育成会会員のそんな想いがこもっています。



NPO 法人 三沢市手をつなぐ育成会 会長 **坂田 靖夫 さん**

「こんな仕事がある」と知ってもらえるきっかけに

初めてパッケージが仕上がったのを見たのですが、「想像していた以上にいいものができたなあ」と感じました。

学校を卒業してから就職するまで、障がいを持つ子どもをどうやって生かしていったらいいか。私だけではなく、障が

いを持つ子どもを持った親は必ず考えていると思うのです。「こんな仕事がある」と知ってもらえるきっかけに、うちの子どもがなってくれればと思い、頑張ってみさせてみました。



NPO 法人 三沢市手をつなぐ育成会 **中村 貞子 さん**

中村さんの子ども（姉妹）がパッケージの手書きイラストを担当

手をつなぐ贈り物

今回、Jサポートの支援を受けて三沢市手をつなぐ育成会が作った製品のシリーズ名は『手をつなぐ贈り物（贈り物）』。パッケージの手書きのイラストを描いた子どもが持ち帰って家族で食卓を囲んだり、製品を手にとった人が他の人に勧めたり。食べておいしいと感じてほしいのはもちろんだが、それ以上に『人と人をつなげたい』という想いが込められている。

今年4月に障がい者の法定雇用率が改正され、50人以上の従業員を雇う全ての事業主に1人以上の障がい者雇用が義務付けられたが、まだ課題も多いと言われている。「障がいを抱え、個々に思い悩む人も多いはず。会に参加することで負担が軽くなるかもしれない」。世代を越えて『つなぐ』育成会にしたいというのは全会員の想い。団体や活動がつながれば、個人や一団体ではできなかった、思いがけない素敵な贈り物が生まれるかもしれない。

【特集】手をつなぐ贈り物 完

▼空き店舗を利用して開設した『商店街コミュニティオフィス』の1室。商品の提案や開発の仕方など、さまざまな支援のワークショップが開かれる。



新たな支援事業が始まりました

商店街コミュニティオフィス

- 相談対象者 三沢市の特産品などを活用して、商品を開発したい人、起業したい人
- 支援内容
 - ▶商品の提案や開発サポート
 - ▶生産者と加工業者のマッチング
 - ▶販路拡大のサポート
 - ▶空き店舗の紹介
 - ▶ものづくりワークショップの支援
 - ▶コミュニティスペースの運営など
- 開設場所 三沢市大町2-4-7 2F (グリル大宮隣り)

開設期間 平成27年3月31日まで
 利用時間 平日 8:15 ~ 17:15
 問い合わせ先 (株)Jサポート 商店街コミュニティオフィス
 (☎ 58-6639) Eメール m.sasaki@jsp55.com



地域の未活用資源生かす支援
 食品加工のノウハウを持たない三沢市手をつなぐ育成会が、開発から商品化、販売まで結びつけられた背景には、『商店街コミュニティオフィス』の支援があった。
 商店街コミュニティオフィスとは、市から委託を受けた株式会社Jサポートが、地域の魅力をPRしながら商品開発や商店街の活性化に取り組む事業。農家や漁師など、一次産業に従事する人々の高齢化や所得減少に伴う担い手不足、中心商店街における空き店舗増加などの問題を解消するために、『物』『場所』『人』といった地域の未活用資源を生かして支援を行う。

「違い」から新たな価値創る
 この事業のコンセプトは『違いを掛け合わせ、まだない価値を創る』。「三沢に居る私たちがだからこそ見いだせる、思わずうれしくなるような、自慢したくなるような新しいモノや価値を創り出した。そして何より、次世代に不安を残さない農家など一次産業者を増やし、事業の安定につなげたい。そんなスタッフの想いが込められている。
 さかのぼれば昭和初期、三沢村の人々は、太平洋無着陸横断飛行に挑むパイロットたちに協力を惜しまなかった。その後も姉妹都市交流をはじめ、さまざまな国際交流を続ける三沢には、異文化を受け入れ、尊重し合い、共存する文化がある。三沢市手をつなぐ育成会とJサポートは今年8月に「会員がやりたいこと」の聴き取りから始め、商品コンセプト・商品ネーミングのワークショップを実施。この事業の第1号となる製品は、11月から販売が開始される。
 障がい者支援団体とごぼう、空き店舗の掛け合わせは、多くの人の努力と熱意によって、地元の特産品を生かした加工品や障がい者とその父母が働ける場所、会の収入源など、多くの価値を創り出した。

高齢化や少子化が進む現代社会を生きる誰もが関わる『福祉』。その『福祉』について、世代や障がいの有無などを越えて、全ての市民が考える機会にしてほしいと三沢市社会福祉協議会が毎年主催し続けているのが『社協まつり』です。さらに同会がこの催しに求めているのは、人々の絆。9月29日、総合社会福祉センターで開催された第8回目となる『社協まつり』に、市内で福祉や保健の向上・充実を目指して活動する約50もの企業・団体・学校などが参加し、子どもから高齢者まで、集まった多くの来場者と楽しみながら絆を深めました。

澄み切った青空の下、午前10時の開始を待ちきれず、既に参加団体と地域の人々に混み合う総合社会福祉センターの中庭。特設ステージで航空自衛隊チームが威勢よく『よさこい』を演舞した後、子どもたちによる恒例の『200人バルーンとばし』で社協まつりは幕を開けました。小さな手から放たれたパステルカラーの風船は、まさに未来へ向けた夢や希望。高く昇っていく色とりどりの風船を見つめていた参加者・来場者は、みんなで歩む明るい未来に期待を膨らませたことでしょう。その明るい気持ちをさらに盛り上げる催しが、途切れることなく特設ステージで続きます。子どもたちが可愛らしいスコップ三味線を奏で、あどけなく舞うと、熟練の踊り子たちも負けじと技を披露。その周りでは各団体が各種模擬店を並べ、手作りの料理などを提供。さらにセンター内でもバザーや健康相談、各団体の活動紹介など催しが目白押し。中でも三沢保育事業研究会が手作り玩具などを紹介するブースや児童館・児童センターが展開するものづくり体験のコーナーは子どもたちに大人気でした。また、会場の一角では、年配の参加者が昔ながらのお手玉やけん玉を子どもたちに教える姿も。地域コミュニティーの衰退が危惧される現代ですが、参加者と来場者が世代も障がいの有無も越えて触れ合う姿からは、未来の明るい『福祉』への可能性を感じました。

世代や障がいの有無を越えて『福祉』を考える機会に

社協まつり 9月29日／総合社会福祉センター



- 1 恒例の「200人バルーン飛ばし」
- 2 世代を越えて踊りや演奏を披露した特設「ふれあいステージ」
- 3 母親クラブの露店に子どもたちもお手伝い
- 4 センター内には各団体の活動紹介
- 5 中学生による赤い羽根募金活動
- 6 世代を超え、けん玉で対決
- 7 保育事業研究会のブースで、さまざまな知育教材を楽しむ親子たち



市老連芸能発表会 10月10日／公会堂

今回も技に磨きかけた各地域の老人クラブが多数出演し、計39の演目で歌や踊りを披露。各クラブとも特色豊かで、中でも大津わらび会は、戦争に出兵する人々とその家族を演じながら『岸壁の母』を歌い、その熱演・熱唱に多くの拍手が送られていました。

先人から学びつつ、明るく豊かな長寿社会実現を目指す

住み慣れた地域で豊かな長寿社会の実現へ老人クラブ活動、高齢者の果たす役割に大きく期待されています。創造と連帯の輪を広げ、親睦と健康保持・増進を図りながら明るく豊かな長寿社会実現のため、先輩方の業績を学びつつ、会員一同頑張っていきたいと思えます。



三沢市老人クラブ連合会 第7代会長 西城 毅 さん

9月27日、きざん三沢において、三沢市老人クラブ連合会の創立50周年記念式典が開催されました。

同会は昭和38年、高齢者の仲間づくりのために、3つの老人クラブの計167人で発足。その後、加入クラブと会員を増やしながら「高齢者による高齢者のための自主組織」として、会員の健康増進、福祉・教養の向上を目的に活動を続けてきました。来年度で40回目を迎える健康スポーツ大会はその代表的な活動で、毎年600人近い会員が参加。介護予防にも通じる運動種目を楽しみながら競う会場には、会員の大きな笑い声が響いています。また、高齢者が安全で安心して暮らすための交通安全・防犯大会や各種研修会、日頃の練習の成果を披露し合う芸能発表会やゲートボール大会など、その多種多様な活動は会員である高齢者の楽しみや生きがい、交流の機会となっています。長年にわたる活動を支えてきた多くの役員・会員の不断の努力によって加入クラブ数は39、総会員数は1,268人（平成25年4月現在）までに増え、今年、記念すべき50周年を迎えました。

7代目の会長を務める西城毅氏は、種市市長、舩見市議会議長、今本県老連会長ら来賓と、会場に集まった310人の会員を前に式辞¹。市や社会福祉協議会、各種団体や地域の人々の力によって活動を続けられてきたことに感謝しながら、決意の想いを伝えました。続いて、同会の広報紙作りに活躍してきた吉川均氏²、「踊りクラブ」の指導を担当してきた中野つせ氏³に、西城会長からそれぞれ感謝状を授与。会場の会員たちは大きな拍手で受賞者を祝福し、その後の祝賀会では記念すべき節目に立ち会えた喜びを分かち合いました。

市老連創立50周年記念式典 9月27日／きざん三沢



三沢市食肉処理センターの大規模改修工事が完了しました

農政課（内線305）

9月25日、三沢市食肉処理センター大規模改修事業の落成記念式典が、淋代平の同施設敷地内で行われました。

昭和45年に開設した同施設は、市の食肉処理の中核を担い続け、平成8年に現在の場所へ移転。年々業務量を拡大し、ここ数年間における食肉処理実績は、当初の倍以上となっています。しかしその一方で、同施設の老朽化は著しく、処理能力は限界まで達し、改修が必要となっていたとのことです。そこで市は、平成23年12月、生産性向上と衛生管理面の強化を図る、一部増築を加えた大規模な改修事業に着手。今年6月に無事に改修を終え、1日あたり2,300頭を処理できる全国トップクラスの食肉処理施設として、平成26年4月からの本稼働が予定されています。



▲施設前でテープカットを行う列席者

式典では初めに、種市市長が列席者約70人に向けて式辞。東日本大震災直後の厳しい状況下で、資材や労力不足などの難題を乗り越えた関係者の尽力に感謝し、新たな食肉処理センターがもたらす経済効果や雇用創出など、市経済を支える重要な産

| 食肉処理センター大規模改修事業 | |
|--------------------------|-----------------------|
| 総事業費 | 3,872,772,621円 |
| うち補助金 | 1,153,333,000円（農林水産省） |
| 改修内容 | |
| ▶処理棟 | 2,495.68㎡の増築 |
| ▶管理棟（鉄骨造2階建） | 676.97㎡の新築 |
| ▶機械室（鉄骨造1階建） | 355.20㎡の新築 |
| ▶汚物庫、オイルタンクの新設、排水処理施設の増設 | ※面積は延床面積 |

市長と語るう住民懇談会

「介護と介護予防」



10月8日、総合社会福祉センターで「市長と語るう住民懇談会」が開催されました。

この懇談会は、三沢市を「住んでよかった」と思えるまちにするために、地域住民と行政が地域の課題や将来像について語り合い、広く集めた意見や提案を今後の市政運営に反映させることを目的として開催するものです。今回のテーマである「介護と介護予防」に関心を持つ参加者12人が種市市長を囲み、日頃考えていた意見や提案を出し合いました。

懇談会の中で参加者から出された意見や提案の概略は、以下のとおりです。

（参加者 種市市長 関係係部長からの説明）

- ▶薬師町では、健康維持のために、よく川沿いを散歩していますが、休憩できる場所を整備してもらえないでしょうか。
- ▶場所は別としても、自然を大事にしながら歩けるコースは大事ですので、考えておきます。
- ▶大変人気の『いきいきセンター』が、古間木地区にもできたらいいなと話しています。
- ▶定員にはまだ余裕があるようですが、今は1カ所です。からね。
- ▶民間のデイサービスは介護度が付いていないと利用できないので、支援まで行かない人の介

市長室から

こんごちは



三沢の食

今年にはさまざまな団体の50周年式典など、「50」に縁のある催しに出席しました。人の年齢でいうと、「50」は知命の年であり、自らの天命を知るといわれ、それぞれの団体等が成熟され、これからも充実した活動を展開されるものと期待しています。

「50」とまではいきませんが、5回目となった「みさわ地産地消フェア」が先月開催されました。当市の農水産物をよく知り、たくさん食べていただくのと多くの団体に参加いただきましたが、残念ながら各種の催しが重なったことと天候に恵まれなかったことにより、出足が鈍ってしまったようですので、その一部をご紹介しますと思います。

定着しつつあるパイカ鍋やエアフォースバーガー、ごぼううどんの出店はもちろんです。新たにじやがいもドックやごぼうそば、ごぼう味噌、そして、麵にイカ墨を練り込んだ「みさわ和焼きそば」など、それぞれの団体が工夫を凝らしたメニューが多く出店されました。ご来場いただいた皆さんは、楽しみながらお腹がいっぱいになり、地産地消ができる大変良い機会であったと感じています。

このイベントも、回を重ねるごとに関係する皆さんと創意工夫し、挑戦していくことで成熟されていきます。その中で三沢らしい食が生まれ、まちの活性化につながると期待をしています。50周年を迎えた皆さんには遠く及びませんが、「継続は力なり」と知恵を出し合い、共に三沢の食を充実させましょう！

三沢市長 種市一正

- ▶介護予防として、同様の公共施設は必要だと思えます。
- ▶温泉の無料券は市民の森でしか使えず、遠くに行くのが大変です。他の温泉でも使える無料券だと喜ばれると思います。
- ▶民間の温泉を利用するのであれば、市が経費を負担しなければなりません。
- ▶市内の高齢者の人数から多額の経費が必要ですので、長寿祝い金との調整を図りながら今後検討していきます。
- ▶一日一便、市民の森温泉行の100円バスがあればうれしいです。
- ▶孤立せず何でも相談できる隣近所の組織化について、どうなっていますか？
- ▶現在、社会福祉協議会を通じて『地域・きずな支え合い事業』に取り組んでおり、近所で支え合うために、どんな人が住んでいるか、調査を行っています。
- ▶相談できずに困っている人のためには、市内4カ所に在宅介護支援センターがあります。
- ▶在宅介護支援センターは、要支援や要介護に関わらず利用できるのですか？
- ▶在宅での生活や健康に不安のある高齢者や家族を支援するセンターですから、どんなことでも相談してください。
- ▶健康なうちに、介護の知識を得る機会がもっとほしいです。

要請に応じて保健師が出前講座をしています。また、『おらの寺子屋』同士で講師の依頼や情報交換をしています。

以前は町内で健康相談を受けてくれた保健師さんが来なくなり、身近に相談できる保健師さんの人数を増やしていただきたいと思います。

現在も保健師に地区の担当はありますが、全ての地区を回れない状態です。

保健師を募集してもなかなか応募がありません。しかし、増やさなければなりません。

その他にも、「介護予防のために心掛けていること」や「介護をしている人の健康を保つためにはどうしたらいいか」などについて、意見が交換されました。また、米田副市長から今後の介護に対して、市としては地域と協力しながら予防と知識の普及を重点的に進めていく考えの説明がありました。

最後に種市市長は、「本人自身が元気でありたいと思う気持ちが大変であり、その気になる環境づくりや意識の高揚が必要。私たち自治体はそれを助長するのが役目であろうと思います。貴重なご意見を受け止め、行政に反映すべく努力していきます」と話し、支援と協力を求めながら参加者に感謝しました。

「講談で学ぶ成年後見制度」成年後見制度講演会を開催します

認知症などで判断能力が低下している人の日常生活を法的に保護する成年後見制度について、講談を通して学びましょう。

日時 11月15日(金) 13:00～15:00
場所 公会堂 小ホール
講師 神田 織音 氏(講談師)



パネラー
村田 典子 氏(三沢ひまわり基金法律事務所)
赤平 光貞 氏(青森県社会福祉士会)
田中 裕之 氏(権利擁護センターぱあとなあ青森)
入場料 無料
問い合わせ先 介護福祉課 (☎ 51-8773)

後期高齢者医療被保険者の皆さまへ 柔道整復師の施術の際にはご注意ください

国保年金課 高齢者医療係 (内線 240)

整骨院や接骨院などで、医師や柔道整復師に以下の施術や治療を受ける場合は、保険証が使えませんのでご注意ください。



保険証を使えない場合

- ▶内科的要因による症状
- ▶単なる肩こりや筋肉疲労
- ▶脳疾患後遺症などの慢性病や症状の改善が見られない長期の施術
- ▶保険医療機関(病院・診療所など)でも治療中の負傷等
- ▶労災保険が適用される、工作中や通勤途中での負傷

※外傷性の骨折や脱臼、打撲、捻挫(いわゆる「肉離れ」を含む)と診断または判断されて施術を受けた場合は保険証が使えます。ただし、骨折および脱臼については、応急手当をする場合を除き、あらかじめ医師の同意が必要です。

施術や治療を受ける場合の注意

- ▶負傷の原因をきちんと伝えましょう。
- ▶療養費支給申告書の受け取り代理人欄(住所・氏名・委任月日)には、原則として患者の直筆による記入が必要です。
- ▶施術が長期になる場合は、内科的要因も考えられますので、医師の診察を受けましょう。
- ▶領収書は必ず受け取り、大切に保管しましょう。

その他の不明な点は、青森県後期高齢者医療広域連合(☎ 017-721-3821)までお問い合わせください。

わんぱく家族米を支給します

家庭福祉課 (☎ 51-8772)

市では、子どもをたくさん育てている家庭に地元産米を贈り、子育てを支援します。子どもたちが地元の農産物をいっぱい食べて、元気に健やかに育ってくれることを願っています。

対象世帯 10月1日時点で三沢市に住所があり、平成7年4月2日から平成25年10月1日までに生まれた子どもを3人以上育てている世帯
支給する米の量(1世帯につき)

子3人の世帯 45kg
子4人以上の世帯 60kg

申請方法 「わんぱく家族米引換券」の交付申請が必要です。対象世帯には、個別郵便で詳細をお知らせします。

申請期限 平成26年1月31日(金)

支給期間 11月5日(火)～平成26年3月25日(火)



体育功労者 表彰候補者を ご推薦ください

市民スポーツ課 (内線 373)

教育委員会では、

- ①スポーツ競技団体の指導・育成に20年以上の著しい功績がある方
 - ②(一財)三沢市体育協会役員として15年以上、その運営・発展に功労がある方
- の中で、特に市のスポーツ振興に功労がある方や、名誉となる特別な業績を挙げた方などを表彰します。

該当者のいる体育関係機関や教育機関は、市民スポーツ課で配布する「三沢市体育功労者の顕彰に係る推薦書」に記入の上、提出してください。

推薦締切 11月11日(月)

児童虐待は 社会全体で解決すべき 問題です。

11月は
児童虐待防止
推進月間
です。

平成25年度標語
「さしのべた その手が
子どもの命綱」



児童虐待とは…

| | |
|----------------------|--|
| 身体的虐待 | 殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など |
| 性的虐待 | 子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など |
| ネグレクト (育児放棄・育児怠慢) | 家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など |
| 心理的虐待 | 言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(ドメスティック・バイオレンス:DV) など |

虐待と思ったら、すぐお電話を!

虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときや、ご自身が出産や子育てに悩んだときは、すぐご連絡ください。※連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

連絡・問い合わせ先

三沢市家庭福祉課 (☎ 51-8772 平日 8:15～17:00)

七戸児童相談所 (☎ 60-8086 平日 8:30～17:15)

三沢警察署 (☎ 53-3145)

子ども虐待ホットライン (☎ 0120-78-6552 24時間フリーダイヤル)

乳幼児揺さぶられ症候群

赤ちゃんを激しく揺さぶらないで!

赤ちゃんが何をやっても泣きやまないと、イライラしてしまうことは誰にでも起こり得ます。しかし、泣きやまないからといって、激しく揺さぶらないでください。赤ちゃんや小さな子どもが激しく揺さぶられると、頭(脳や網膜)に損傷を受け、重い障害が残ったり、命を落とすこともあります。

どうしても泣きやまなときは、赤ちゃんを安全なところに寝かせて、その場を少しの間でも離れ、まず自分をリラックスさせましょう。



除雪ボランティアを募集します

市では、町内の歩道や集会施設、自力での除雪作業が困難な高齢者世帯宅などにおける除雪作業をお手伝いいただける町内会やボランティア団体などを募集しています。また、道路の寄せ雪や、歩道のある交差点などの除雪作業に参加していただけるボランティア企業も募集します。市と協働の除雪作業にご協力をお願いします。

※ボランティア参加団体には小型除雪機(先着1団体)を貸し出します。詳細についてはお問い合わせください。

問い合わせ先 土木課 (内線 286・287)



11ch 三沢市ケーブルテレビジョン自主放送

チャンネルガイド 2013 11月

※再放送については、番組表でご確認ください。

生活地域情報番組

「三沢スナップ」

投稿写真募集!!

今回のテーマは

◎本人が撮影したものに限り、
◎内容によっては、ご紹介できない場合もあります。
◎投稿の際はMCTVホームページ「写真投稿」応募に関する注意事項をご覧ください。(同注意事項はMCTV窓口でも配布しております。)

三沢市の風景

ペット(市内で撮影)

※投稿方法は持ち込みのみです。 MCTVNET 検索

| 2013年 | 11月 | 番組表 |
|---|-------------|-----|
| | 11月6日~12月4日 | |
| ※その日放送される「マックニュースライン」市内の出来事はデータ放送で確認できます。 ※予告なく番組が変更される場合があります。 ※★:初回放送 ※☑:マックニュースライン ※☒:天気予報 | | |

| 9(土) | 10(日) | 11(月) | 12(火) | 13(水) | 14(木) | 15(金) |
|--|--|--|--|---|---|--|
| 6.00 N ¹ /ローカルTV 7.00 N ² /サイエンス 8.00 N ³ /情報 9.00 N ⁴ /サイエンス 10.00 三沢スナップ 10.30 つめこみマックス 11.00 日本酒の祭典 12.00 N ⁵ /サイエンス 1.00 N ⁶ /求人 2.00 日本酒の祭典 3.00 モールオブTV 4.00 ローカルTVアワー 4.30 求人情報 5.00 N ⁷ /サイエンス 6.00 夢をカタチに/先生 7.00 週刊マック 7.30 情報宅配便 8.00 約リビジョン 9.00 週刊/熱血教室 10.00 日本酒の祭典 11.00 手話/求人 | 6.00 手話/ローカルTV 7.00 週刊/サイエンス 8.00 週刊/情報 9.00 手話/サイエンス 10.00 日本酒の祭典 11.00 男子新体操 12.00 N ⁸ /サイエンス 1.00 夢をカタチに/先生 2.00 トキメキ応援隊 3.00 モールオブTV 4.00 ローカルTVアワー 4.30 求人情報 5.00 週刊/サイエンス 6.00 日本酒の祭典 7.00 週刊マック 7.30 情報宅配便 8.00 トキメキ応援隊 9.00 週刊マック 9.30 ローカルTVアワー 10.00 約リビジョン 11.00 手話/求人 | 6.00 手話/ローカルTV 7.00 週刊/サイエンス 8.00 週刊/情報 9.00 手話/サイエンス 10.00 日本酒の祭典 11.00 男子新体操 12.00 N ⁹ /サイエンス 1.00 夢をカタチに/先生 2.00 トキメキ応援隊 3.00 モールオブTV 4.00 ローカルTVアワー 4.30 求人情報 5.00 週刊/サイエンス 6.00 日本酒の祭典 7.00 マックニュースライン 7.30 情報宅配便 8.00 夢をカタチに/先生 9.00 週刊/熱血教室 10.00 GOGOゴルフ特集 11.00 N ¹⁰ /求人 | 6.00 N ¹¹ /ローカルTV 7.00 N ¹² /サイエンス 8.00 N ¹³ /情報 9.00 N ¹⁴ /サイエンス 10.00 夢をカタチに/先生 11.00 トキメキ応援隊 12.00 N ¹⁵ /サイエンス 1.00 N ¹⁶ /求人 2.00 男子新体操 3.00 モールオブTV 4.00 ローカルTVアワー 4.30 求人情報 5.00 N ¹⁷ /サイエンス 6.00 トキメキ応援隊 7.00 マックニュースライン 7.30 情報宅配便 8.00 約リビジョン 9.00 N ¹⁸ /熱血教室 10.00 GOGOゴルフ特集 11.00 N ¹⁹ /求人 | 6.00 N ²⁰ /ローカルTV 7.00 N ²¹ /サイエンス 8.00 N ²² /情報 9.00 N ²³ /サイエンス 10.00 夢をカタチに/先生 11.00 トキメキ応援隊 12.00 N ²⁴ /サイエンス 1.00 N ²⁵ /求人 2.00 男子新体操 3.00 モールオブTV 4.00 ローカルTVアワー 4.30 求人情報 5.00 N ²⁶ /サイエンス 6.00 トキメキ応援隊 7.00 マックニュースライン 7.30 情報宅配便 8.00 日本酒の祭典 9.00 N ²⁷ /熱血教室 10.00 約リビジョン 11.00 N ²⁸ /求人 | 6.00 N ²⁹ /ローカルTV 7.00 N ³⁰ /サイエンス 8.00 N ³¹ /情報 9.00 N ³² /サイエンス 10.00 MCTVお知らせ 10.30 つめこみマックス 11.00 男子新体操 12.00 N ³³ /サイエンス 1.00 日本酒の祭典 2.00 つめこみ/スナップ 3.00 モールオブTV 4.00 ローカルTVアワー 4.30 求人情報 5.00 N ³⁴ /サイエンス 6.00 つめこみ/おしらせ 7.00 マックニュースライン 7.30 情報宅配便 8.00 つめこみ/スナップ 9.00 N ³⁵ /熱血教室 10.00 つめこみ/おしらせ 11.00 N ³⁶ /求人 | 6.00 N ³⁷ /ローカルTV 7.00 N ³⁸ /サイエンス 8.00 N ³⁹ /情報 9.00 N ⁴⁰ /サイエンス 10.00 三沢スナップ 10.30 つめこみマックス 11.00 男子新体操 12.00 N ⁴¹ /サイエンス 1.00 N ⁴² /求人 2.00 つめこみ/おしらせ 3.00 モールオブTV 4.00 ローカルTVアワー 4.30 求人情報 5.00 N ⁴³ /サイエンス 6.00 つめこみ/スナップ 7.00 マックニュースライン 7.30 情報宅配便 8.00 つめこみ/おしらせ 9.00 N ⁴⁴ /熱血教室 10.00 つめこみ/スナップ 11.00 N ⁴⁵ /求人 |

三沢市小中学校音楽交歓会

11/16(土) 午前11時~

11月7日(木)三沢市公会堂で開催される音楽交歓会。市内の子どもたちが日ごろの練習の成果を発表します。合唱や吹奏楽など心あたたまるステージをご覧ください。

市民文化祭 ~舞台部門~

11/30(土) どれみ アンサンブル 第1部 午後2時~ 第2部 午後6時~

12/2(月) 合同邦楽祭 第1部 午後2時~ 第2部 午後8時~

※音夢の会・吹奏楽祭・合唱祭・ジャズの祭典は12月放送予定です。

子どもバラエティ

★トキメキ応援隊★

今回のテーマは
音楽の秋を楽しもう♪
音楽交歓会!!

11/23(土) 午前11時~

ラブリーキッズ クッキング体験!!
三川目保育所に おじゃましま〜!

この人に学ぼう

ためしてカルチャー教室

絵のあるお手紙教室

11/30(土) 午前11時~

手描きの絵を添えて、心こもった絵葉書を書いてみましょう。
講師:新名 喜代恵先生

とれたて情報 つめこみマックス

三沢の旬な生活情報をお届けする週刊情報番組です。

毎週木曜 午前10:30

再放送 木・金・土

ケーブルテレビ 熱血教室

中学1年生で勉強する数学の基礎と一緒に学ぶ番組です。

毎週月~土 午後9:30

今月のサイエンス

- ▶「技の彩」~伝統工芸に息づく色
- ▶ザ・メイキング
- ▶空を見上げよう
- ▶エレメンツ~メンデレーエフの奇妙な棚
- ▶U.H.O. フューチャーレスキュー2061
- ▶アスリート解体新書

日本酒の祭典

全国の日本酒が集まる祭典。東広島市で行われる「酒まつり」の見どころと楽しみ方をご紹介します。

11/9(土) 午前11:00

制作: 東広島ケーブルメディア

小島亮太のGO!GO!ゴルフ特集

プロゴルファー小島亮太さんによる初心者~上級者向けのゴルフレッスン番組。

11/12(火) 午後10:00

制作: アイ・シー・シー

真つすくな思いが実現する

高知県須崎市を代表するよさこい踊りチームが解散してから10年。その魂を引き継いで新たに誕生したチームの葛藤と成長を追ったドキュメント。

11/16(土) 午後6:00

制作: よさいケーブルネット

名張青山 歴史街道をゆく

The world of RAMPO

探偵小説家江戸川乱歩の人物像と彼の故郷、三重県名張市との関わりを紐とく。

11/24(日) 午後8:00

制作: 榊アドバンスコープ

唐津が生んだ 建築界の巨匠たち

東京駅などの設計で知られる建築家辰野金吾の功績を振り返りながら、彼がここに抱き続けた「ふるさと唐津」への想いに迫る。

11/24(日) 午後8:30

制作: 榊唐津ケーブルテレビジョン

ワンポイント医療

今回のテーマは、**血圧**です。

三沢市立三沢病院の専門医が治療法や予防法をみなさんにわかり易くお伝えします。

放送は、11/25(月)~29(金)マックニュースラインの後です。
詳しくは、EPG(電子番組表)をご覧ください。

『協働』市民提案事業の2次採択団体決定

9月25日

まちづくりに取り組む市民団体などの活動を市が支援する『協働のまちづくり市民提案事業』の2次募集にWOMEN'S VISION（ウィメンズビジョン）が応募。地域の魅力発見・開発の観点・手法を学ぶ『まちづくり人材発掘フォーラム』開催を提案し、採択されました。



▲市民団体や企業、市など審査員の前でプレゼンテーションする応募団体

おいらせ農協酪農部が県共進会受賞を報告

10月7日

9月7日に開催された牛の体型や資質の良さを競う県乳用牛共進会で、おいらせ農協が出品した全15頭が入賞。そのうち、経産牛部門では千葉準一さんの牛が農林水産大臣賞とグランドチャンピオン賞を、梅津誠さんの牛がリザーブグランドチャンピオン賞を受賞しました。



▲種市市長に受賞の喜びを伝える、おいらせ農協酪農部の面々

バレーボール協会が生涯スポーツ優良団体に

10月15日

三沢市バレーボール協会が、生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣表彰を受け、種市市長に報告しました。受賞には、幅広い年代の人々が参加できるスポーツを長年にわたり普及させてきた功績が認められたとのこと。小比類巻会長は、さらなる発展へ意欲をみせていました。



▲関係者の協力が感謝するとともに「会員の努力が実ったのでは」と喜びを表す小比類巻会長（中央）

男女の視点から避難所運営を学ぶ

みんなでつくる安心して過ごせる避難所 10月2日

男女共同参画の推進に賛同する上十三管内の団体が集まり結成した『上十三地域男女共同参画ネットワーク』が、男女の視点から避難所運営の在り方を考える講演会やワークショップを公会堂で開催しました。

講師を務めた県男女共同参画センターの小山内副館長は、東日本大震災の事例から「男女対等な話し合いの上で、避難所運営のルールを決めることが大切」と指摘。その後、避難所生活を疑似体験した参加者43人は、細かく情報収集することによって個人のニーズに合わせた対応ができることや、ダンボール製の簡易更衣室で最低限のプライバシーを保護し、より快適な避難所運営ができることなどを学びました。



▲災害を想定し、避難所運営のための情報収集を体験する参加者たち

地域の課題考え、指導者の資質磨く

地域リーダー育成セミナー 10月5日

自らの知識や能力を生かし、率先して企画・実践できる人材を育てるセミナーの第1回目が総合社会福祉センターで開催され、地域づくりや市民活動に関心を持つ19人が参加しました。

昨年に引き続き講師を務めた「まちづくり Facilitation 夢工房」の足立氏は、これまでに自身が東北各地で取り組んできたまちづくりの実践事例をわかりやすく紹介し、柔軟な視野を持つことの大切さなど、地域のリーダーとして備えるべき資質を講義。その後、3つの班に分かれた参加者は、話し合いの手法の一つであるワークショップ形式を学びながら地域の課題を探し出し、解決方法を模索しました。



▲性別も世代も異なる参加者によって、多彩な意見が交わされていました

出来事 通信

できごと
つうしん

鎌と機械で体験。 今と昔の稲刈りの違い

おおぞら小学校 稲刈り 10月2日

泥にまみれながら苗を植えた5月から約4カ月。不順な天候にも負けず、おおぞら小学校の学校田には今年も黄金色に輝く見事な稲穂がたわわに実り、同校3年生から6年生まで約80人の児童らによる稲刈り作業が行われました。



この日に刈ったのは、約25アールの学校田の約2割。米軍三沢基地内カミングス小学校も応援に駆け付け横一列に並んだ児童た

▲現代の機械を使った稲刈りも体験



ちは、昔ながらの鎌で稲を刈り、束ね、軽トラックに積んでいきました。おいらせ農協青年部の人々が手取り足取り教えるものの、鎌の扱いになかなか慣れず苦勞する児童たち。後半は機械を使った稲刈りも体験し、その速さと便利さを実感していました。

苦勞して刈り取った稲は、学校敷地内で乾燥させた後、5年児童19人が脱穀し、精米。参観日で販売されるということです。児童たちが苗から作ったお米の味はきっと格別なことでしょう。口のできる日が楽しみです。

健闘たたえ合い交わす固い握手

六年生壮行試合野球大会 10月5日・6日

卒業を控えた六年生がチームメイトと一緒に野球をできるのも残りあとわずか。「卒業しても頑張る」。子どもたちの健全な成長を願う父母らによって毎年開催される野球大会に、今年は市内7つの少年野球チームが出場し、木崎野小学校グラウンドで2日間にわたる熱戦を繰り広げました。

選手が最も緊張する大会初戦、初回こそ固さはあったものの着実に得点を重ね勝利した北部地区のはまなすクラブは、好投好打で連戦連勝。そのままトーナメントを制し、優勝しました。試合終了後、勝敗を超えて互いの健闘をたたえ合い、固い握手を交わす各チーム選手の姿は清々しく、青少年の健全育成におけるスポーツの力を感じました。



▲1回戦終了後、握手を交わすはまなすクラブ（左）と古間木レンジャーズ（右）

世界で活躍する“人財”目指して

グローバル人財養成セミナー 9月28日・29日

急速に進展するグローバル化に対応するべく、県と市が若者を中心に参加者を募り、国内外で活躍する講師陣による講座、米軍基地内大学教授によるコミュニケーション能力向上のための講座、在住外国人との異文化交流などのプログラムを企画。世界や日本を知り、世界を相手に活躍できる人財育成を目指し、全3回・各1泊2日の日程で開催されるセミナーの第1回目が国際交流教育センターで開催されました。

初日には、早稲田大学高等研究所助教の田邊優貴子氏と青山学院大学教授の榊原英資氏による公開講座を実施。セミナー受講者32人を含む約150人の参加者に、世界を舞台に活躍してきた経験や考え、思いなどを伝えました。



▲経験や知識を基に、グローバル化を参加者に説く榊原英資氏



問 問い合わせ先 申 申し込み先 開 開催場所

| 市民無料相談 | |
|-------------------|--|
| ●法律相談 (法テラス青森主催) | 6日(水)・20日(水) 12月4日(水) 13時~16時 |
| ●法律相談 (社会福祉協議会主催) | 12日(火)・12月10日(火) 13時~16時 |
| ●法律相談 (市主催) | 26日(火) 13時~16時 |
| ●人権・行政相談 | 11日(月) 10時~15時 |
| ●人権・困り事相談 | 14日(木)・28日(木) 9時30分~15時 |
| ●創業・起業相談 | 1日(金)・15日(金) 13時~16時 |
| ●教育相談 | 毎週月~金 8時15分~16時 |
| ●家庭児童・婦人相談 | 毎週月~金 9時~16時 |
| ●育児・子育て支援相談 | 毎週月~金 9時~16時30分 毎週土 9時~11時30分 |
| ●育児・子育て支援相談 | 毎週月~金 9時~16時30分 |
| ●消費者生活相談 | 毎週月~金 9時~17時 |
| ●警察安全相談 | 随時 電話相談可 |
| ●犯罪被害者支援相談 | 毎週月~金 9時~16時30分 |
| ●がん・緩和ケア・医療相談 | 毎週月~金 9時~16時 |
| ●介護・福祉相談 | 毎週火 10時~15時 |

お知らせ

青森県最低賃金が改正
 使用者も労働者もチェック!
 県内で働く全ての労働者と、労働者を一人でも雇用する使用者に適用される青森県最低賃金が、10月24日から改正されました。

時間額 665円

※製造業と小売業の一部には特定(産業別)最低賃金が定められています。

▼問 青森労働局賃金室
 (☎017-734-4114)
<http://aomori-roudoukyoku.jp/site/mlw.go.jp/>

労働保険適用促進強化月間

労働保険の手続きを忘れずに労働者を一人でも雇っている事業主(農林水産業の一部を除く)は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する義務があります。手続きを行わない場合、職権により強制適用されることがありますので、忘れず、お早目に手続きをしてください。

労災保険
 業務災害および通勤災害により負傷等をした場合、必要な保険給付を行います。

雇用保険
 労働者が失業した場合、生活安定や再就職促進のために

催し

おみや暮らしに関する相談会
 解決の糸口を見付けに行こう
 生活資金の不足や多額の借金、保証人問題、キャンセル問題など、おみや暮らしに関する悩みを専門のスタッフと弁護士が丁寧に聴き取り、一緒に解決の糸口を探します。

とき 11月9日(土)・10日(日)
 10時~16時

ところ 消費者信用生活協同組合八戸事務所
 (八戸市八日町36 第1ビル4階)
 (☎0120-1102-084)

農業用免税軽油の免税証
 交付申請手続きが必要
 平成26年春から農業用免税軽油を使う方は、免税証の交付申請手続きが必要です。

交付申請の受付
 とき 11月27日(水)9時~15時
 ところ 十和田合同庁舎
 販売店を通じて申請する場合、早めに必要書類を提出してください。

※組合や共同で申請する方は必要書類が異なりますのでお問い合わせください。

▼問 上北地域県民局 県税課課税課
 (☎22-811-1内線210)

図書館からのお知らせ
秋の製本講座
 開くと星形オーナメントに変化する折り本を作ります。

とき 11月6日(水)、20日(水) 各14時~

定員 各8人(先着順)

図書館シネマ(上映会)
 タイトル 劇団四季ミュージカル『ユタと不思議な仲間たち』

とき 11月9日(土)13時~

読み聞かせ講習会
 読み聞かせや朗読に生きた豊かな表現力を学びましょう。

とき 11月23日(土)・24日(日) 13時30分~15時

講師 元RABアナウンサー 池谷賢一氏

ところ 全て3階第1会議室

参加料 全て無料

▼問 図書館 (☎53-6040)

病院ハートフルコンサート
 津軽三味線の調べ

とき 11月17日(日)16時~

ところ 三沢病院1階ロビー

出演 正仁会

曲目 鳴海会合奏曲 他

入場料 無料

▼問 ハートフルコンサート実行委員会 成田 (☎52-6097)

武道祭
 鍛え磨き上げられた技の牙

三沢市を代表する武道系の協会が、日頃の練習の成果を皆さんに披露します。

とき 11月10日(日) 開会式9時~

ところ 武道館

参加協会
 空道、空手、剣道、弓道、なぎなた、武術太極拳、少林寺拳法

▼問 市民スポーツ課 (内線373)

講座・教室
 小児・乳児の救命講習会
 いざというときのために

小児・乳児(15歳未満)の心肺蘇生法や異物除去法、AED使用方法など。

とき 11月17日(日)9時~12時

ところ 消防本部2階講堂

定員 30人(先着順)

受講料 無料

▼問 消防署救急係 (☎54-4212内線218)

排水設備工事配管工認定講習
 忘れずに受講してください

青森県下水道協会による平成25年度認定講習です。

とき 平成26年1月27日(月)14時~
 28日(火)10時30分~

広告

借金とこの無料相談会
 お気軽にご相談ください

借金だけでなく、心のケアや生活再建に向けた、さまざまな相談に応じます。

とき 11月23日(土)13時~15時(要電話予約)

ところ 十和田市保健センター(十和田市立中央病院付近)

▼問 青森りんごの会「青森多重債務被害等をなくす会」
 (☎017-718-3792)

浄化槽の維持管理
 浄化槽は正しく使しましょう

浄化槽法では、①定期的な保守点検②年1回の清掃③法定検査の受検が義務付けられます。

▼問 県南清掃係 (☎50-7100)

年内のし尿のくみ取り
 お早めにお申し込みください

11月から12月にかけて、し尿くみ取りの申し込みが集中します。年内のくみ取りを希望する方は、12月6日(金)までにお申し込みください。

▼問 県南清掃係 (☎50-7100)

年内のし尿のくみ取り
 お早めにお申し込みください

11月から12月にかけて、し尿くみ取りの申し込みが集中します。年内のくみ取りを希望する方は、12月6日(金)までにお申し込みください。

▼問 県南清掃係 (☎50-7100)

年内のし尿のくみ取り
 お早めにお申し込みください

11月から12月にかけて、し尿くみ取りの申し込みが集中します。年内のくみ取りを希望する方は、12月6日(金)までにお申し込みください。

▼問 県南清掃係 (☎50-7100)

排水設備工事配管工認定講習
 忘れずに受講してください

青森県下水道協会による平成25年度認定講習です。

とき 平成26年1月27日(月)14時~
 28日(火)10時30分~

広告

広告

広告

広告

広告

広告

広告

SPORTS

市民ソフトバレーボール大会

| | | | | | | | |
|-----------|---|----------|--|-----------|--|-----------|-----------|
| 日時 | 12月1日(日) 8:30～受付 | | | | | | |
| 場所 | 総合体育館 | | | | | | |
| 編成 | <table border="1"> <tr> <td>メンズ&ミックス</td> <td>メンズ/男性4人(40歳以上を3人含む) ミックス/男女各2人(年齢制限なし)</td> </tr> <tr> <td>レディース&小学生</td> <td>レディース/女性4人(年齢制限なし) 小学生/5・6年生4人(女性との混合可)</td> </tr> <tr> <td>小学4年生以下の部</td> <td>小学4年生以下4人</td> </tr> </table> | メンズ&ミックス | メンズ/男性4人(40歳以上を3人含む) ミックス/男女各2人(年齢制限なし) | レディース&小学生 | レディース/女性4人(年齢制限なし) 小学生/5・6年生4人(女性との混合可) | 小学4年生以下の部 | 小学4年生以下4人 |
| メンズ&ミックス | メンズ/男性4人(40歳以上を3人含む) ミックス/男女各2人(年齢制限なし) | | | | | | |
| レディース&小学生 | レディース/女性4人(年齢制限なし) 小学生/5・6年生4人(女性との混合可) | | | | | | |
| 小学4年生以下の部 | 小学4年生以下4人 | | | | | | |

参加料 無料
 申込方法 三沢市バレーボール協会ホームページ (http://www.10.plala.or.jp/misawa-vb/) に掲載する申込書に必要事項を記入して郵送またはFAX
 申込締切 11月17日(日) 必着

★申し込み・問い合わせ先
 三沢市ソフトバレー事務局 大塚 (☎090-8423-0669)
 〒033-0036 三沢市南町3-31-3115 FAX 52-7592

LECTURE

水中ウォーキングで健康づくり

日時 12月4日(水)、6日(金)、11日(水)、13日(金)
 18日(水)、20日(金) 14:00～15:00 (全6回)
 場所 屋内温水プール
 対象者 18歳以上
 定員 15人(先着順)
 参加料 2,000円
 申込締切 11月30日(土) 17:00



★申し込み・問い合わせ先 屋内温水プール (☎59-3850)

EVENT

ファミリー健康体力測定会

日時 11月9日(土) 9:00～(受付8:30～)
 場所 総合体育館
 対象 6歳～64歳の男女
 ※家族2人以上でお申し込みください。
 定員 30人程度(先着順)
 測定項目 ▶握力▶上体起こし
 ▶長座体前屈▶反復横とび
 ▶20mシャトルラン(往復持久走)
 ▶立ち幅とび
 ※終了時に各自の評価表をお渡します。
 参加料 無料
 申込締切 11月7日(木)
 ※当日は動きやすい服装で上履きとタオルをお持ちください。



★申し込み・問い合わせ先 市民スポーツ課(内線372)

SPORTS

市民バレーボール大会

日時 12月8日(日) 8:30～
 場所 第二中学校体育館(一般男女)
 三沢小学校体育館(小学生)
 編成 監督1人、コーチ1人、選手9～12人
 参加料 無料
 申込方法 三沢市バレーボール協会ホームページ (http://www.10.plala.or.jp/misawa-vb/) に掲載する申込書に必要事項を記入して郵送またはEメール
 申込締切 11月20日(水) 厳守



★申し込み・問い合わせ先
 三沢市バレーボール協会 熊野
 (☎090-2270-3247) Eメール vb.kumano@gmail.com
 〒033-0022 三沢市大字三沢字下久保57-49

LECTURE チャレンジ!市民ひとり芸スポーツ

ファミリースケート教室 ～親子で楽しくスケートしよう～

日時 11月16日(土)・17日(日) 14:45～16:15
 12月4日(水) 18:15～19:45
 12月7日(土)・8日(日) 14:45～16:15(全5回)
 場所 三沢アイスアリーナ
 対象 年長以上の子ども1人と大人1人(家族追加可)
 定員 15組程度(先着順)
 参加料 1組3,000円
 (追加の場合は1人につき+1,000円)
 申込締切 11月15日(金) 17:00
 ※スケート靴は1回300円でレンタル可



★申し込み・問い合わせ先
 三沢アイスアリーナ (☎57-2100)

INFORMATION

「広報みさわ」へ有料広告を掲載してみませんか?

広告の大きさ・掲載料金

| 区分 | 大きさ | 1回の掲載料 |
|------|--------------|---------|
| 1号広告 | 縦45mm×横180mm | 30,000円 |
| 2号広告 | 縦45mm×横85mm | 15,000円 |

申込方法 市ホームページに掲載または広報広聴課に設置する申込書に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。
 申込締切 掲載希望号の発行日の30日前
 ※印刷の色は2色となります。
 掲載場所の指定はできません。



★申し込み・問い合わせ先
 広報広聴課 広報係(内線214)

INFORMATION

青森空港からの青森・ソウル線をぜひご利用ください

青森・ソウル線で韓国へひとつ飛び! さらにラクラク乗り継ぎで世界の各都市へ!
 ▶青森・ソウル線は10月27日から水、金、日曜日の週3便運航していて、週末を利用した旅行にも便利!
 ▶仁川空港は、乗換もラクラク。バンコク、ハノイ、香港、北京、ニューヨーク、ホノルル、グアムなど、世界の主要都市へとつながっています!
 ▶青森空港では、ただ今、駐車料減免の社会実験を実施中!
 青森・ソウル線を利用した場合、2泊3日以上何泊しても青森空港の駐車料金は1,000円に据え置き!
 期間 平成26年3月末まで
 ※駐車料金の減免を受けるためには駐車料金の減免申請が必要です。



★問い合わせ先 青森県企画政策部交通政策課航空グループ (☎017-734-9153)

EVENT

成人式 ～門出の記念に

日時 平成26年1月12日(日)
 受付11:30～▶記念演奏12:15～
 ▶式典13:00～
 場所 公会堂
 対象 市内在住で平成5年4月2日～平成6年4月1日までに生まれた方
 ※市内在住者には、はがきでご案内します。三沢市出身で他市町村に在住し、参加を希望する方は、事前にご連絡ください。



★問い合わせ先 公会堂 (☎53-8711)

INFORMATION

屋外スポーツ施設を冬季閉鎖します

以下の施設は11月25日(月)から冬季閉鎖します。

| 施設 | 問い合わせ先 |
|-------------|-------------------------------|
| 南山多目的ふれあい広場 | ☎51-8105 月～土 9:00～21:00 |
| テニスコート | ☎080-2831-0573 日・祝 9:00～17:00 |
| 南山屋外運動場 | ☎51-8105 月～金 13:00～21:00 |
| | ☎080-2831-0570 土 9:00～21:00 |
| 市民運動広場 | ☎57-2812 日・祝 9:00～17:00 |
| | ☎080-2831-0572 |

★問い合わせ先 (一財)三沢市自治振興公社 (☎51-1930)



LECTURE

市民活動推進講座 ～持続するチカラ～

現状を振り返り、団体運営のレベルアップを図りましょう!
 日時 12月14日(土) 13:00～16:00
 場所 総合社会福祉センター2階
 内容 第1部 講演「目標を実現するために必要なこと」
 講師 あおもりNPOサポートセンター 三澤 章氏



PROFILE
 長野県出身。日本広告写真家協会会員。緊急雇用対策事業、雇用能力開発プログラム、行政職員へのNPO講座等の企画運営を行うとともに、NPO法人会計基準協議会および復興支援事業を受託し、市民ファンド・コミュニティビジネスなど多くの事業を展開する。

第2部 ワークショップ
 定員 20人(先着順)
 受講料 無料
 申込締切 電話、FAX、Eメール等でお申し込みください。
 申込締切 12月10日(火)

★申し込み・問い合わせ先
 広報広聴課 市民協働推進係(内線215) FAX 52-5655
 koho@city.misawa.lg.jp

INFORMATION

「2014年版 青森県民手帳」を好評発売中です

青森県民手帳の2014年版を販売しています。県内の便利情報が掲載され、大変好評をいただいています。市役所本館2階の行政経営課で販売していますので、どうぞお早目にお買い求めください。



価格 1冊500円(税込)
 ※色は黒、青、赤、緑、ページの5色です。

★問い合わせ先 行政経営課 調査統計係(内線222)

INFORMATION

警察等による犯罪被害者への支援活動をご存知ですか？

犯罪の被害に遭うことは、本人にとっても家族にとっても、つらく悲しいことです。突然の出来事に戸惑い、どうしたらよいのか分からず不安な思いをするなど、心にも深い傷を負い、誰にも話せず悩んでいる方もいることでしょう。

一人で悩まず、勇気を出して警察にご相談ください。警察では犯罪被害に遭われた方や遺族の精神的・経済的負担を軽減するため、さまざまな取り組みを行っています。



公益社団法人あおもり被害者センターとの連携

あおもり被害者センターでは、電話や面接による相談、病院や裁判所等への付き添い、臨床心理士カウンセリングといった途切れの無い支援活動を行っています。

★公益社団法人あおもり被害者センター (☎ 017-721-0783)

社会で被害者を支えよう！～「犯罪被害者等支援県民フォーラム」

日時 11月28日(木) 13:00～

場所 県民福祉プラザ(青森市)

▶犯罪被害者遺族の講演 ▶高校生による犯罪被害者支援研究発表 ▶命の大切さを学ぶ教室感想文コンクール表彰式 など

★問い合わせ先

青森県警察本部犯罪被害者支援室 (☎ 017-723-4211)

三沢警察署 (☎ 53-3145)

INFORMATION

年金相談のお知らせ

公的年金について、記録の確認や年金の受け取り、保険料の納付・免除などのご相談をお受けします。

日時 11月19日(火) 10:30～15:00

場所 総合社会福祉センター

相談料 無料

※予約制です。相談を希望する方は事前にお申し込みください。

※当日は、身分証明書、年金手帳等を持参してください。本人以外が相談する場合は委任状が必要です。

★申し込み・問い合わせ先

八戸年金事務所 国民年金課

(☎ 0178-43-7369)



INFORMATION

三沢警察署からのお知らせ

▶ 11月は『子ども・若者育成支援強調月間』です

次代を担う子どもたちの非行防止や健全育成のためには、周囲の温かい見守りや声掛けが必要です。子どもや若者の育成支援に対する理解と協力をお願いします。



▶ 11月25日は『女性に対する暴力撤廃国際日』です

11月12日(火)～25日(月)の2週間、『女性に対する暴力をなくす運動』が行われます。DVやストーカー行為などは早期対応が効果的です。少しでも早く相談しましょう。



★問い合わせ先 三沢警察署 (53-3145)

詳しくは、八戸年金事務所『0178-43-7368』へ。日本年金機構のホームページもご覧ください。
http://www.nenkin.go.jp/

犯罪被害者支援の具体的内容

犯罪被害給付制度

殺人等の故意の犯罪行為により不慮の死を遂げた方のご遺族や障害が残った方などに対して、一定の基準以上の場合に国から給付金が支給されます。

県費負担制度

特定の被害に遭われた方には、診断書料や初診料、検査費用等を県費で負担する制度があります。また、ホテル等へ一時避難するための費用等を負担できる場合があります。

各種情報提供や被害者の要望に応じた対応

刑事手続きの流れや、各種支援制度等の情報をまとめたパンフレット「被害者の手引き」を差し上げています。性犯罪被害等に遭われた方の要望に応じて、女性警察官による事情聴取や捜査状況の連絡を行うように配慮しています。

発生直後から専門職員が支援

専門的な支援が必要とされる事件・事故が発生したときは、「指定被害者支援要員」として指定された警察官・警察職員が、被害者やそのご家族の心情に配慮した支援活動に努めています。

専門的知識を有する警察職員によるカウンセリング

専門的なカウンセリングが必要な場合は、臨床心理士の資格を持つ警察職員がカウンセリングを行っています。

事業再生に
意欲のある
事業者を支援します！



青森県産業復興相談センターをご利用ください

事業再生(震災からの復興を含む)に意欲のある事業者を積極的に支援します。出張相談をご希望の方は、まずお電話を！

対象 大企業を除く全ての事業者

- ▶事業の再生・復興を図ろうとしている事業者
- ▶事業は続けているが借入金返済の負担が大きく、資金収支が厳しい事業者
- ▶金融機関の返済緩和を受けており、事業の見直しや複数金融機関との調整が必要な事業者

内容

- ▶事業再生に向けての、事業計画や再生計画づくりの支援
- ▶青森県中小企業再生支援協議会との連携による事業再生支援
- ▶宮城県事業引き継ぎ支援センター、(株)東日本大震災事業者再生支援機構等への取り次ぎ

出張相談をご利用ください

期間 11月中の毎週月・木曜日(時間と場所は電話による申し合わせで決定)

★申し込み・問い合わせ先 青森県産業復興相談センター八戸事務所

(☎ 0178-32-7153) 八戸市番町9-5 協栄八戸番町ビル5階

ワンポイント消防

電気ストーブ火災に注意しましょう

電気ストーブ火災を防ぐポイント

- ▶布団、カーテン、ふすま等の燃えやすいもののそばでストーブを使用しない。
- ▶洗濯物を乾燥させるため、ストーブの上に洗濯物を吊るしたりしない。
- ▶スプレー缶などはストーブの近くに置かない。
- ▶寝る前には、必ず電源を切る。

※空気が乾燥し、火災が起こりやすい季節です。

暖房器具を使用する際、電気ストーブなどは移動や取り扱いが簡単なことから手軽に扱えますが、使い方を間違えると火災になる危険性があります。十分注意してください。



住宅用火災警報器を設置していないご家庭は早急に設置しましょう。消防本部予防課 (☎ 54-4279)

INFORMATION

油の流出事故にご用心ください

毎年、暖房を使用する時期になると、灯油や農耕用軽油の漏えい事故が多発します。灯油を使う機会が増えるこの季節、次の事に注意しましょう。

- ▶給油時は、その場を離れない
- ▶落雪や除雪作業による配管などの破損に注意する
- ▶ホームタンクや配管などを定期的に点検する

※油漏れを起こした場合や発見した場合は、速やかにご連絡ください。



★問い合わせ先 環境衛生課(内線 279) 消防本部 (☎ 54-4111)

広告

広告

薬物乱用は ダメ！ ゼツタイ！

子どもを薬物乱用から守るのは大人の責任です！



薬物乱用が広がっています

無限大の可能性を持つ子どもたちの将来を台無しにしてしまう薬物の乱用。その背景には、入手が簡単になったことや危険性への誤った認識、罪悪感の希薄化などがあるとされています。最近では「合法ドラッグ」などと称して危険性を偽装した薬物も売られており、さらにはインターネットなど、子どもにも手の届く販売方法が広がっているため注意が必要です。

なぜ乱用するとダメなの？

薬物は一時的に爽快感を得たり不安を解消した感覚を得ることもありますが、乱用を始めると次第に何度も使いたくなる「依存」が起こり、自分の意志でやめられなくなる危険性が高まります。また、脳や体に影響を与える可能性も高く、呼吸停止や意識消失、幻覚妄想など、体も心もボロボロになってしまいます。さらに、薬物乱用は重い犯罪で、もらう、所持する、使用すると厳しく罰せられます。

子どもを守るチェックポイント

こんな行動が見られたら注意しましょう。

| | |
|------------------|------------------|
| 帰宅が遅い | 友人関係がよくわからない |
| 金使いが荒くなった | 目を合わせて会話をしない |
| 理由もわからないお金を使っている | 親の知らない人と連絡を取っている |
| 嘘が多くなった | 家族と一緒に食事をしない |
| イライラしている | 部屋に一人でこもることが多い |

薬物に手を出させないための8カ条

- ①思春期特有の心と体の変化を理解しましょう
- ②毎日の会話など、親子のコミュニケーションを大切にしましょう
- ③子どもの話には耳を傾けましょう
- ④悪い誘いを拒否できる勇気を育てましょう
- ⑤家族や先生にいつでも相談できるようにしておきましょう
- ⑥自ら健全な決断ができるようにしましょう
- ⑦学校や地域社会との関係を大切にしましょう
- ⑧様子がおかしいと気になったら、すぐに相談窓口へ相談しましょう

もしも、薬物を友人から勧められたり、手をだしてしまったり、薬物について悩んでいるときは、1人で抱えず相談しましょう。

相談窓口

県医療薬務課 (☎ 017-734-9289)
 県精神保健福祉センター (☎ 017-722-7777)
 上十三保健所 (☎ 23-4261)
 問い合わせ…保健相談センター ☎ 57-0707



田中 快旺 (かいおう) くん / 10カ月

11月の保健だより

休日救急診療

| | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 11月 3日(日) | 鳴海外科医院 | 53-3056 |
| 11月 4日(月祝) | こおり耳鼻科クリニック | 53-3387 |
| 11月 10日(日) | 平山泰照皮心科医院 | 53-1255 |
| 11月 17日(日) | 中山内科医院 | 52-7752 |
| 11月 23日(土祝) | 下田診療所 | 0178-56-3116 |
| 11月 24日(日) | 得居泌尿器科医院 | 50-1333 |
| 12月 1日(日) | まつそのクリニック | 52-5050 |
| 12月 8日(日) | ひぐちクリニック | 50-1441 |

※17時以降の夜間救急診療は当番制ではありません。

健康診査・保健相談

| 内容・対象 | 月日 | 時間 | 場所 |
|---|-----------|-------------------------------------|----------|
| ハローベビークラス (両親学級) | 11月19日(火) | 13:30 ~ 16:00 (受付 13:15 ~ 13:30) | 保健相談センター |
| 内容 沐浴実習 *予約制です。当日は、動きやすい服装で母子手帳をお持ちください。 | | | |
| プレマクラス (母親教室) | 12月5日(木) | 13:30 ~ 16:00 (受付 13:15 ~ 13:30) | |
| 内容 マタニティピラティスまたは調理実習の選択制 *予約制です。当日は、母子手帳、バスタオル(ピラティス)、エプロン・三角巾(調理実習)をお持ちください。 | | | |
| 親子すくすく広場 | 11月12日(火) | 9:30 ~ 11:30 (受付 9:30 ~ 10:00) | |
| 対象 5~7カ月児 内容 計測、ベビーマッサージ、育児相談など *予約制です。当日は、母子手帳とバスタオルをお持ちください。 | | | |
| 9~10カ月児健康相談 | 11月13日(水) | 受付 9:30 ~ 10:00 | |
| 1歳6カ月児健康診査 (平成24年3月生まれの幼児) | 11月21日(木) | 受付 12:45 ~ 13:15 | |
| 2歳児歯科健康診査 (平成23年6月生まれの幼児) | 11月13日(水) | 受付 12:45 ~ 13:15 | |
| 3歳児健康診査 (平成22年4月生まれの幼児) | 11月20日(水) | 受付 12:30 ~ 13:00 | |
| ▶乳幼児健診では、母子健康手帳・バスタオルを持参してください。 1歳6カ月児・2歳児・3歳児健康診査では診査票などを忘れずに。 体調不良や感染症などのときは受診をご遠慮ください。 | | | |
| ▶親子すくすく広場、9~10カ月児健康相談では、中学生のふれあい体験学習が併設されますので、ご協力をお願いします。 | | | |
| 栄養相談 | 随時受付(予約制) | | |
| 一般健康相談 | 月~金曜日随時 | 8:30 ~ 16:30 | |
| こころのケア相談 電話相談 | 11月1日(金) | 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 15:00 | |
| 面接相談 | 11月22日(金) | 10:00 ~ 15:00 | |
| *面接は前日までに要予約 ☎ 57-0029 (専用電話) | | | |

MEDICAL INFORMATION

成人の風しん抗体検査・予防接種費用を助成

妊娠初期の妊婦が風しんにかかること、出生児が心疾患や白内障、難聴などの障害を持つ先天性風しん症候群になる可能性があります。対象者に抗体検査と予防接種の費用を助成しますので、風しんを未然に防ぎ、安心して出産できる環境を作りましょう。



助成を希望する方は、印鑑と対象者であることが証明できるもの(保険証、運転免許証など)、母子健康手帳等(妊婦の場合)を持参し、保健相談センターで手続きをしてください。

抗体検査の助成対象者

- 検査日に市内に住所がある20~40歳代で、
- ①妊娠を希望する女性とその夫(パートナー)
- ②妊娠中の女性と同居する夫(胎児の父)
- ※風しんにかかったことがある方、風しんワクチン・麻しん風しん混合ワクチンで2回接種した方、妊婦、妊娠している可能性のある方は除きます。

風しん予防接種助成対象者

抗体検査の結果、抗体価の低い方

助成内容

- ▶市内指定医療機関での抗体検査および予防接種は無料
- ▶市内指定医療機関以外での抗体検査および予防接種した場合は後日償還払いをします

助成期間

11月1日(金)~平成26年3月31日(月)接種分
 ※平成25年4月1日にさかのぼって適用しますので、平成25年4月1日以降10月31日までに風しんワクチンを接種した方は、接種済証、領収書、振込先の通帳、印鑑を持って償還払いの手続きをしてください。(この間の抗体検査は対象外です)。

★問い合わせ先 健康推進課 (☎ 57-0707)

MEDICAL INFORMATION

AED設置施設登録制度を始めます

設置しているAEDを近隣の施設や建物・事業者の事故等にも対応していただける事業者を募集・登録し、広く周知する制度を始めます。



登録要件

- ①事業所の近隣の事故等にAEDを使用できる事業者
- ②組織内に普通救命講習等の受講者がいる事業者(医療機関を除く)
- ③広報紙やホームページ等での企業名の公表に同意できる事業者

※既にAEDを設置している事業所には、案内書類を直接郵送します。新規にAEDを設置する事業者等で、本制度に登録を希望する場合は、ご連絡ください。

★問い合わせ 健康推進課 (57-0707)

MEDICAL INFORMATION

インフルエンザ予防接種のお知らせ

実施期間 11月1日(金)~12月28日(土)

- 対象者 次のいずれかに該当する方
- ①昭和23年10月31日以前に生まれた方
 - ②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器またはヒト免疫不全ウイルスによって免疫機能に重度の障害がある方

実施場所 委託医療機関

接種費用 1,000円(生活保護世帯は無料)

※対象者には10月下旬、個別に通知をしていますが、転入等で通知が届いていない場合は、ご連絡ください。



★問い合わせ先 健康推進課 (☎ 57-0707)

MEDICAL INFORMATION

小児肺炎球菌ワクチンを13価へ切り替えます

これまで、小児の肺炎球菌感染症に対する定期接種のワクチンとして、7種類の成分を含む7価肺炎球菌ワクチンが使用されていましたが、11月1日からは13種類の成分を含む13価肺炎球菌ワクチンが使用されることになりました。

7価と13価の接種スケジュールは同じですので、途中まで7価を接種している場合も、残りの接種はスケジュールどおり13価で接種してください。

※小児肺炎球菌ワクチンの切り替えに関するQ&Aは、厚生労働省のホームページをご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/>

★問い合わせ先 健康推進課 (内線 260・263)

EVENT

上十三地域 歯科フォーラム

歯科に関する展示相談コーナーを設け、いい歯の日(11月8日)の記念講演を開催します。
 どなたでも、お気軽にご参加ください。



日時 11月9日(土) 14:00~17:00

場所 国際交流教育センター

内容 展示相談コーナー
 歯科健診・口腔がん検診・歯周病検査・歯科相談など
 記念講演「一生おいしく、楽しく、安全な食生活を送るための口腔の養生法」
 講師 植田耕一郎氏

参加料 無料

★問い合わせ先 青森県歯科医師会 上十三歯科医師会 (☎ 017-777-4870)

各コンクール入賞者を発表します

平成 25 年度 納税作品コンクール

納税作品コンクールに応募された全ての作品を展示します。
 期 間 11月6日(水)～14日(木) (14日は14:00まで)
 場 所 ビードルプラザ
 ★問い合わせ先 税務課(内線165)

金 小学校1学年の部



- 金 新堂 希実 (岡三沢)
- 銀 柿本 爽汰 (三川目)
- 銅 南川 颯志 (三沢)
- 佳 中村 麻鈴 (古間木)

金 小学校4学年の部



- 金 松園 さくら (木崎野)
- 銀 甲地 七彩 (岡三沢)
- 銅 高橋 音愛 (三沢)
- 佳 古田 一珠 (古間木)

金 小学校6学年の部



- 金 南川 慧葉 (三沢)
- 銀 原田 葉生 (木崎野)
- 銅 富田 桃花 (三川目)
- 佳 田中 知花代 (上久保)

金 小学校2学年の部



- 金 本間 さくら (岡三沢)
- 銀 小泉 花和 (木崎野)
- 銅 西田 柚香 (上久保)
- 佳 浪岡 美羽 (上久保)

金 小学校5学年の部



- 金 月館 美羽 (三沢)
- 銀 引地 穂馨 (古間木)
- 銅 南 隼人 (木崎野)
- 佳 佐々木 姫愛 (岡三沢)

銅 ポスターの部



- 銅 別部 祐希 (古間木6年)

金 小学校3学年の部



- 金 坂岡 華 (三沢)
- 銀 角 あかり (木崎野)
- 銅 坂本 大空 (古間木)
- 佳 佐々木 怜奈 (岡三沢)

金 中学校・作文の部



- 金 岩崎 友哉 (第一・3年)
- 銀 半澤 依奈 (第一・3年)
- 銅 山本 玲奈 (第一・2年)
- 佳 吉田 涼太 (第二・1年)

金 中学校の部



- 金 大山 迪咲 (第二・1年)
- 銀 高橋 沙耶香 (第二・3年)
- 銅 袴田 郁海 (第二・1年)
- 佳 藤田 悠介 (第五・1年)

第11回 花と緑の写生コンクール



- ### 小学校低学年の部
- 金 細川 亜実 (古間木・2年)
 - 銀 山本 夏実 (木崎野・1年)
 - 銅 織笠 実生 (おおぞら・1年)
 - 銅 安光 佑藍 (木崎野・3年)



- ### 小学校高学年の部
- 金 浅野 那奈 (上久保・4年)
 - 銀 坂本 文 (上久保・4年)
 - 銅 中村 華心 (木崎野・6年)
 - 銅 川端 菜子 (木崎野・6年)



- ### 中学校の部
- 金 沼端 亮磨 (第一・2年)
 - 銀 小川 愛佳 (第一・1年)
 - 銅 山本 将太 (第一・3年)
 - 銅 立花 健斗 (第三・3年)
 - 銅 立崎 彩純 (第三・2年)

花と緑の写生コンクールと花壇コンクールに応募された全ての作品・写真を展示します。

期 間 11月27日(水)～12月9日(月)
 10:00～20:00 (9日は14:00まで)

場 所 ビードルプラザ

★問い合わせ先 三沢市公園緑化公社 (☎51-2820)

第12回 花壇コンクール



- ### 花壇の部 (小学校)
- 最優秀賞 おおぞら小学校
 - 優秀賞 古間木小学校
 - 優良賞 三川目小学校
 - 審査員特別賞 木崎野小学校



- ### 花壇の部 (中学校)
- 最優秀賞 第三中学校
 - 優秀賞 第五中学校
 - 優良賞 堀口中学校

文武両道、地域とともに生徒を育てきた三沢商業高校 決意を新たに次のステージへ

県立三沢商業高等学校創立 50 周年記念式典 10月5日/公会堂

式典のオープニングで、3年連続全国大会銀賞受賞を果たしたマーチングを披露する同校吹奏楽部



- 1 創立50周年を機に生徒が考えた、三沢商業高校のイメージキャラクター『おおとりくん』
- 2 歴代校長など貢献者に感謝状を授与
- 3 山口校長や来賓から期待と激励を込めたメッセージを受け取る600人の全校生徒



10月5日、公会堂大ホールで、青森県立三沢商業高等学校の創立50周年記念式典が行われました。

同校が開校したのは1963(昭和38)年。「開校時から全国に誇る自慢の宝」と山口章校長が語る生徒の活躍は、珠算部やワープロ部、各運動部など、文武にわたって三沢商業高校の名を全国に知らしめています。また、社会のIT化・多様化・グローバル化に対応するため人材育成にも力を注ぐ同校では、農協や漁協、商工会などの部会に分かれ、毎年異なるテーマで企画・商品開発・販売などを直に体験する課題研究を実施。その成果の一部は実際に販売され、新たな地産商品として注目を集めるほどとなりました。また、今年から新たな試みとして、日本最先端のプログラムを持つ高崎商科大学と協定を結び、高校3年生までに日簿簿記1級取得を目指す、北海道・東北初の『税理士・公認会計士養成Haul-A(ホールエー)プロジェクト』を開始。三沢商業高校の挑戦はさらに続こうとしています。

先輩から後輩へ受け継ぎながら快進撃を続ける要因を「高みを目指す先輩と、その先輩を越えようとする後輩の進化のシステムがあればこそ」と話す山口校長は、約300人の来賓や列席者、600人の全校生徒を前に式辞。三沢商業高校が歩んできた50年を振り返り、歴代校長をはじめ教職員、県、市、関係団体、保護者そして地域の人々への敬意と感謝、そして新たな決意の想いを語りました。続いて、50周年記念事業協賛会の気田会長があいさつし、歴代の後援会長やPTA会長、校長に感謝状を授与。来賓が祝辞で華を添えた後、同校3年の生徒会長・附田翔くんが生徒を代表して喜びの言葉を述べ、最後は会場全体で同校校歌を合唱。三沢商業高校のさらなる発展・活躍に想いを馳せ、式典は幕を閉じました。

倫理観に支えられたコミュニケーション能力と人間力ある人材を育てるには、知識を詰め込むだけでなく、自ら体験して身に付けることが不可欠です。社会貢献するグローバルビジネスリーダーの育成、そして本校のさらなる発展に、職員一同、心一つにして邁進することを誓います。



三沢商業高等学校 山口章校長

これまで、三沢商業にはたくさんの栄光の軌跡が刻まれてきました。私たち一人一人がまた新たな足跡を残すと思うと、深い喜びとともに責任の重さを感じます。社会の中で何を生かすべきかを常に考え、行動できる人間になるために、これからも精一杯努力していきたいです。



三沢商業高等学校 生徒会長 附田翔くん



MISAWA SPIRITS

地域で頑張る人々を紹介します

「子どもたちの心が成長できる事業を」

“青少年の育成”のために活動し続ける三沢青年会議所

「青年の英知を結集し、次代の担い手になるう」。初代理事長がこのスローガンを掲げてから50年、公益社団法人三沢青年会議所は今、新たな転機を迎えた。

三沢市周辺に居住または勤務する20歳以上40歳未満で、入会を承認されたメンバーは現在40人。仕事の合間を縫って集まり実施する多彩な活動には、柱ともいべき欠かさない2つの事業がある。

一つは三沢・沖縄児童交歓事業。青年会議所間で姉妹関係を結び、児童らと1年置きに互いのまちを訪問。三沢の児童が沖縄の夏を、沖縄の児童は三沢の冬を体験する。42年目を迎えたこの事業は、児童の成長を促す貴重な経験だけでなく、メンバー間に厚い友情と強い絆をもたらした。

もう一つは、8月の三沢まつり中日に開催される国際サマーフェスティバル。山車が無い町内の子どもたちも参加しやすいようにと始められて早33年目。参加団体は年々減少しているものの、地元企業・団体や自衛隊、米軍ほか外国人も多数参加する、国際色豊

かな三沢らしい祭りの一つとして楽しまれている。

また、この他にも同団体では毎年、新しく多彩な事業を企画・実施。地域の『じっちゃ』『ばっちゃん』から昔ながらの農業や遊びを学ぶ『むがしのわらしっこ体験』は衰退しつつある世代間交流や農業理解を深め、特に今年50周年として『思いやり』について考える催しを開催した。その中で大きかったのは、青年会議所OBであるシニアクラブメンバーの存在。現役時代から厳しくも温かく導いてくれた先輩たちが、40人以上も集まり、何も言わず助けてくれた。先輩たちから脈々と受け継がれてきた三沢青年会議所の活動の軸は『青少年の育成』。次代の担い手となる人材作りに最も力を入れている。

新たな一歩を踏み出すに当たり、「団体として成長しなければならぬ」と話す、佐々木文仁現理事長。「子どもたちの心が成長できるような事業をばくらが実施し、その子どもたちが次の世代に繰り返し受け継いでいけるようにしたい」と熱く想いを語った。

人口と世帯数 — 9月末現在 — ※ () 内は前月との増減比較

■人口 41,886人 (−5人) ・男 20,565人 (−1人) ・女 21,321人 (−4人) ■世帯数 18,855世帯 (−6世帯)

発行 三沢市役所 編集 広報広聴課
〒033-8666 青森県三沢市桜町1-1-38
☎0176-53-5111 FAX 52-5655
Eメール koho@city.misawa.lg.jp ホームページ http://www.city.misawa.lg.jp/

「広報みさわ」に対するご意見やご感想、取り上げてほしい行事や話題など、皆さまからの情報をお待ちしております。ご連絡は広報広聴課まで。